

## テーマ2

## 親子の関係

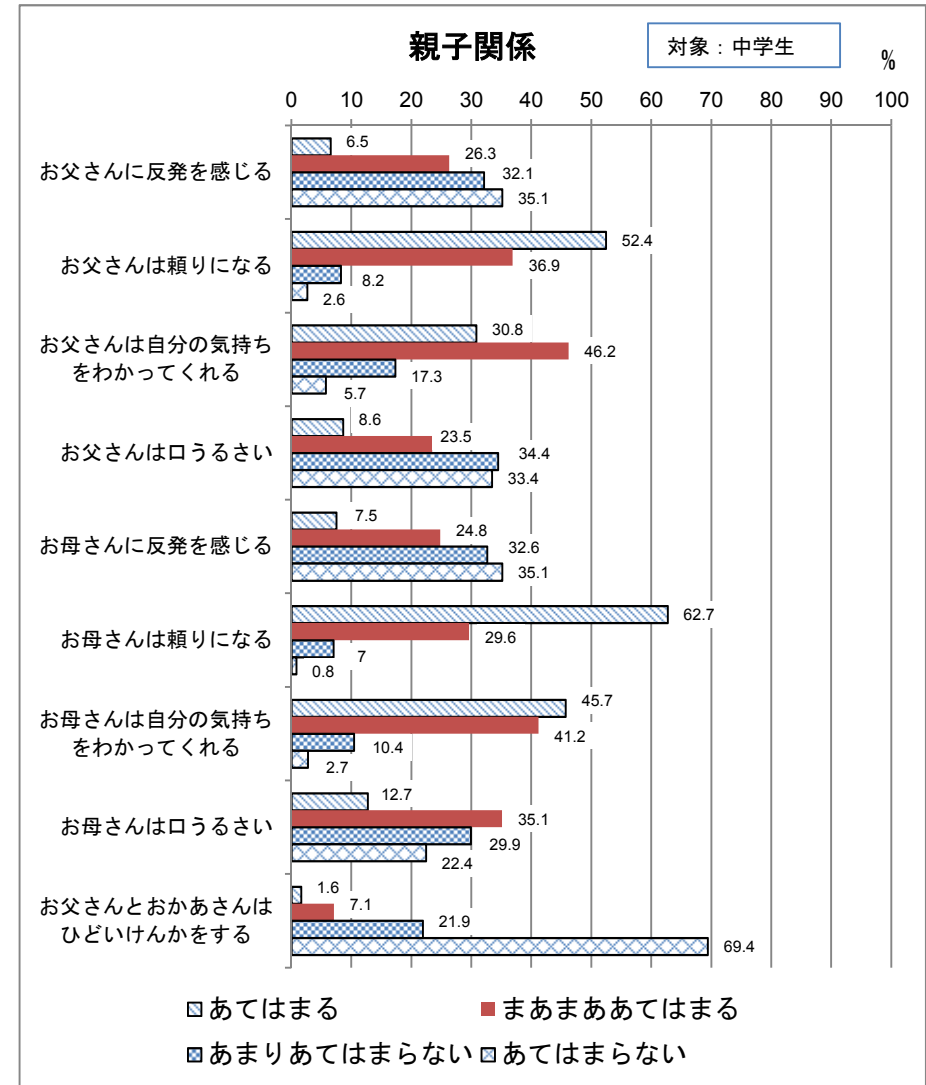
### 【ねらい】

- ◇お互いの子育て体験を語り合うことを通して中学生の親としての力を高める。
- ◇支える親同士の関係をつくったり強めたりする。

### 【活動の流れと支援のポイント】

- 4～5人のグループに分かれ、自己紹介をする。
  - グループの構成方法については、2ページを参照。
  - グループ内の進行役、発表役を各一人決める。
- ワークシート1の例を読み、自分が子育ての中で体験しているトラブルを出し合う。
  - 思春期の子を持つ親のほとんどが、トラブルを抱えた経験をもっていると思われる。しかし、それはなかなか打ち明けにくいものである。親としての学び合いを進めていく上では、そういったトラブルも出し合える関係を築いていく必要があるため、まずファシリテーター自身が親として経験したエピソードやトラブルを語り、参加者が、ここでなら自分のトラブルを語ってもいいという安心感がもてるようにする。また、互いに支え合う親となっていくために、語り合いの中に出てきた情報については他言しないことを確認する。
  - トラブルについては、そこでどのように対処したのか、その結果どうなったのか、といったことまで可能な範囲で語ってもらうよう促す。
- ワークシート2を記入し、自分と子どもとの関係にどのような傾向があるか確かめる。
  - 自分は、子どもにとって心を打ち明けられるような関係を築けているか、ふりかえて記入するよう働きかける。
  - 右ページの資料を提示し、親子関係を客観的にふりかえる参考にしてもらう。
- 自分が中学生だった頃、一番信頼できた大人と、その理由をワークシート3に記入する。
- 記入したことをグループ内で伝え合い、中学生の子どもが信頼する大人とは、どのような人なのか考え合い、グループで出た意見を全体の場で発表し合う。
- 話し合ったことや、ワークシート2に記入したことも照らし合わせて、これからの親子関係づくりで自分が大切にしたいことをワークシート4に書く。
  - 今後また話し合う場が設定できるようなら、それまでの間の行動目標を設定するのもよい。
- グループ内で、もう一度お互いの名前を確かめ合い、話し合いを終了する。

### 【参考資料】



【平成25年度 中学生の意識に関する調査（内閣府）】